



## 素晴らしかった年中さんの発表会

11月23日に年中さんの発表会がありました。きりん組さんは、「11ぴきのねことあほうどり」という劇を演じました。このお話は、コロッケ店を開いたねこたちとアホウドリたちのやりとりでハラハラする内容ですが、最後は、ねこたちがあほうどりたちにコロッケをご馳走してハッピーエンドで終わるお話です。



うさぎ組さんは「ぼんたのじどうはんばいき」という劇を演じました。このお話は、葉っぱを入れると王様のカンムリや首飾り、人参を入れるかご、虫歯を治す薬などみんなの願いをどんどんかなえていきます。

最後は、たぬきさんの「友だちがほしい」の願いもかなえてくれました。「ぼんたのじどうはんばいき」の不思議



な力や優しい心が伝わるお話です。

こうしたお話を年中の皆さんは、劇にして見事に演じてくれました。一人一人がそれぞれに気持ちを込めて自分のセリフを言ったり、手振りや身振りで雰囲気を出したりして、自分の役を堂々と演じていたところが立派でした。劇の中には、歌があったり、音楽に合わせて踊ったりと、いろいろと工夫されていて、見ている人を楽しませてくれました。そして、何よりのクラスみんなで力を合わせて、この劇を完成させたところが素晴らしいと思いました。最後の合唱もみんなの心が一つになり、元気いっぱいの歌声を披露してくれました。

年中の保護者の皆様からは、子どもたちの演技や歌声にたくさんの温かい拍手をいただきました。年中の皆さんの成長を感じる発表会になりました。

## たんぽぽクラスが陶芸に挑戦

今週は、たんぽぽクラスで親子陶芸教室がありました。はじめに陶芸用の粘土が配られ、その粘土をこねたり、平らにしたりして、作品作りの準備をしました。平らになった粘土にハートや星、魚やねこの顔などの型で切り取り、自分の好きな形を作りました。ねこの顔を作ったお友だちは、目を入れたり、ヒゲを書いたりして、形を整えていました。型を使わず、独自の作品を作るお友だちもいました。作品を作る子どもたちの表情は真剣そのものです。仕上がった作品は、乾かしてから、陶芸用の窯で焼き上げます。焼き上がった作品を手にした時の子どもたちの嬉しそうな顔が目につかびます。



## 園長が絵本の読み聞かせ

2学期も年少さんに絵本の読み聞かせをしました。本の題名は『きよだいな、きよだいな』です。この絵本は野原に巨大なものが現れて、100人の子どもがその巨大なものと遊ぶ様子がユーモラスに展開されています。絵本を読んでいた驚いたことは、年少のお友だちが静かに絵本の読み聞かせに聞き入っていたことです。時にはお話の内容に驚いたり、笑ったりと絵本の世界を楽しんでいました。日々の絵本の読み聞かせの積み上げで、子どもたちは、絵本の楽しさを知っています。ご家庭でもいろいろな絵本を読んであげてください。

